

全鉄連流通動態調査結果表平成23年5月分

(23.6.24)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		4月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	26,578	101.7	50,761	87.0	50,870	87.8	26,469	99.6	
	大 阪	6,927	102.5	20,620	87.6	20,823	89.1	6,724	97.1	
	愛 知	6,697	94.7	1,348	44.5	1,839	54.0	6,206	92.7	
	計	40,202	100.6	72,729	85.6	73,532	86.8	39,399	98.0	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	22,449	103.7	9,908	96.5	9,075	96.0	23,282	103.7
		大 阪	15,880	117.0	9,230	89.6	7,261	90.8	17,849	112.4
		愛 知	12,482	113.5	4,318	60.3	5,123	90.3	11,677	93.6
		計	50,811	110.0	23,456	84.6	21,459	92.8	52,808	103.9
	溝 形 鋼	東 京	13,393	93.1	7,209	124.6	6,480	95.5	14,122	105.4
		大 阪	10,629	107.8	6,719	97.0	4,949	80.3	12,399	116.7
		愛 知	6,923	101.5	3,537	84.2	3,451	84.2	7,009	101.2
		計	30,945	99.6	17,465	103.3	14,880	87.3	33,530	108.4
	H 形 鋼	東 京	23,305	108.5	17,801	105.7	14,126	94.0	26,980	115.8
		大 阪	41,541	105.0	26,968	97.7	23,642	92.3	44,867	108.0
		愛 知	20,763	106.4	13,042	110.9	10,849	103.3	22,956	110.6
		計	85,609	106.3	57,811	102.9	48,617	95.1	94,803	110.7
合 計		167,365	106.0	98,732	97.9	84,956	93.0	181,141	108.2	
コ ラ ム	東 京	8,736	99.8	2,037	89.7	2,269	99.1	8,504	97.3	
	大 阪	10,402	97.8	3,218	90.4	2,828	74.5	10,792	103.7	
	愛 知	3,099	95.6	1,239	136.5	1,367	129.9	2,971	95.9	
	計	22,237	98.2	6,494	96.4	6,464	90.6	22,267	100.1	
軽 量 C 形 鋼	東 京	4,448	101.5	4,413	140.4	2,696	87.6	6,165	138.6	
	大 阪	3,373	101.3	1,598	69.9	1,611	71.9	3,360	99.6	
	愛 知	2,258	100.8	1,163	96.6	1,089	91.2	2,332	103.3	
	計	10,079	101.3	7,174	108.0	5,396	82.9	11,857	117.6	
総 計		239,883	104.1	185,129	92.9	170,348	89.8	254,664	106.2	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 37、大阪 24、愛知 15、合計 76社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。